

情報公開用文書

2022年9月20日

研究課題名	整形外科病棟における SSI（Surgical Site Infection：手術部位感染）低減への取り組み～看護師による日々の口腔ケアの実施～
研究の対象	<p>① 2021年の6か月180日間（②の2022年倫理審査委員会承認後～6か月間と同月、同日の6か月180日間）に独立行政法人国立病院機構横浜医療センター東5病棟で脊椎手術（厚生労働省 SSI 手術手技コード FUSN:脊椎固定、RFUSN：脊椎再固定術、LAM 椎弓切除術）を受けた患者。</p> <p>② 2022年倫理審査委員会承認後～6か月180日間に独立行政法人国立病院機構横浜医療センター東5病棟で脊椎手術（厚生労働省 SSI 手術手技コード FUSN:脊椎固定、RFUSN：脊椎再固定術、LAM 椎弓切除術）を受ける患者。</p>
研究目的・方法	<p>【研究目的】 整形外科病棟の看護師が歯科医師と歯科衛生士から口腔ケアの知識と手技を学習し、手術を受ける患者の周術期口腔ケアを実施することにより、学習前よりも SSI を低減させることができるのかを明らかにする。</p> <p>【研究方法】</p> <p>① 歯科口腔外科医、歯科衛生士の口腔ケアの指導を看護師が受ける前の脊椎手術（厚生労働省 SSI 手術手技コード FUSN:脊椎固定、RFUSN：脊椎再固定術、LAM 椎弓切除術）を受ける症例とその深部切開創 SSI と臓器・体腔 SSI 発生件数を電子カルテから抽出</p> <p>② 歯科口腔外科医、歯科衛生士の口腔ケアの指導を受けた看護師による口腔ケアを実施した脊椎手術（厚生労働省 SSI 手術手技コード FUSN:脊椎固定、RFUSN：脊椎再固定術、LAM 椎弓切除術）を受けた症例とその深部切開創 SSI と臓器・体腔 SSI 発生件数を抽出</p> <p>③ ①と②の件数を比較検討する</p>
研究期間	2022年倫理審査委員会承認後～9か月270日間
研究に用いる資料・情報の種類	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター東5病棟で2021年の6か月180日間（2022年と比較するため、2022年倫理審査委員会承認後～6か月180日間の期間と同月、同日の6か月間）に脊椎手術（厚生労働省 SSI 手術手技コード FUSN:脊椎固定、RFUSN：脊椎再固定術、LAM 椎弓切除術）を受けた症例とその深部切開創 SSI と臓器・体腔 SSI 発生件数を電子カルテから抽出する。

本研究に関するご質問・ご相談などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば他の研究対象の個人情報および知的財産に保障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することが出来ますので、下記連絡先までお申し付けください。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申し付けください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはございません。

問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：独立行政法人国立病院機構横浜医療センター東5病棟 清水敦子

問い合わせ先：045-851-2621（病院代表）

時間：平日9時～16時